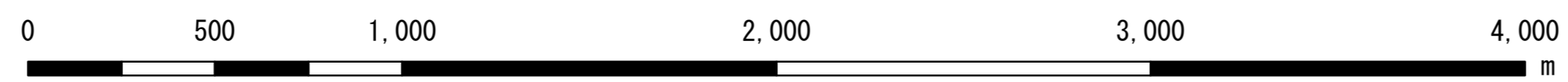


計算条件：最高水面(零位)
 隆起量：平均 -0.07m(-0.07m ~ -0.09m)
 Zo：0.93m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

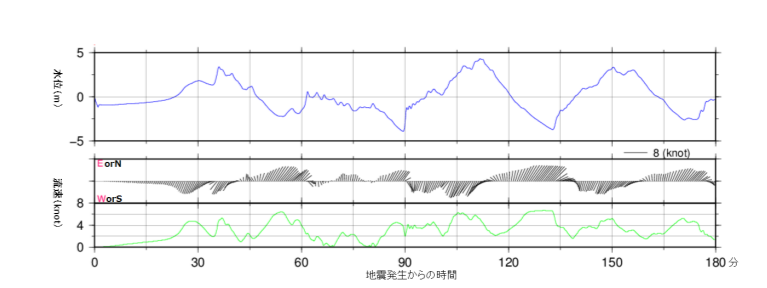


凡例

- 最大水位上昇
- 5~最大6.0m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満

経時変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を各図の経時変化図で示す。)

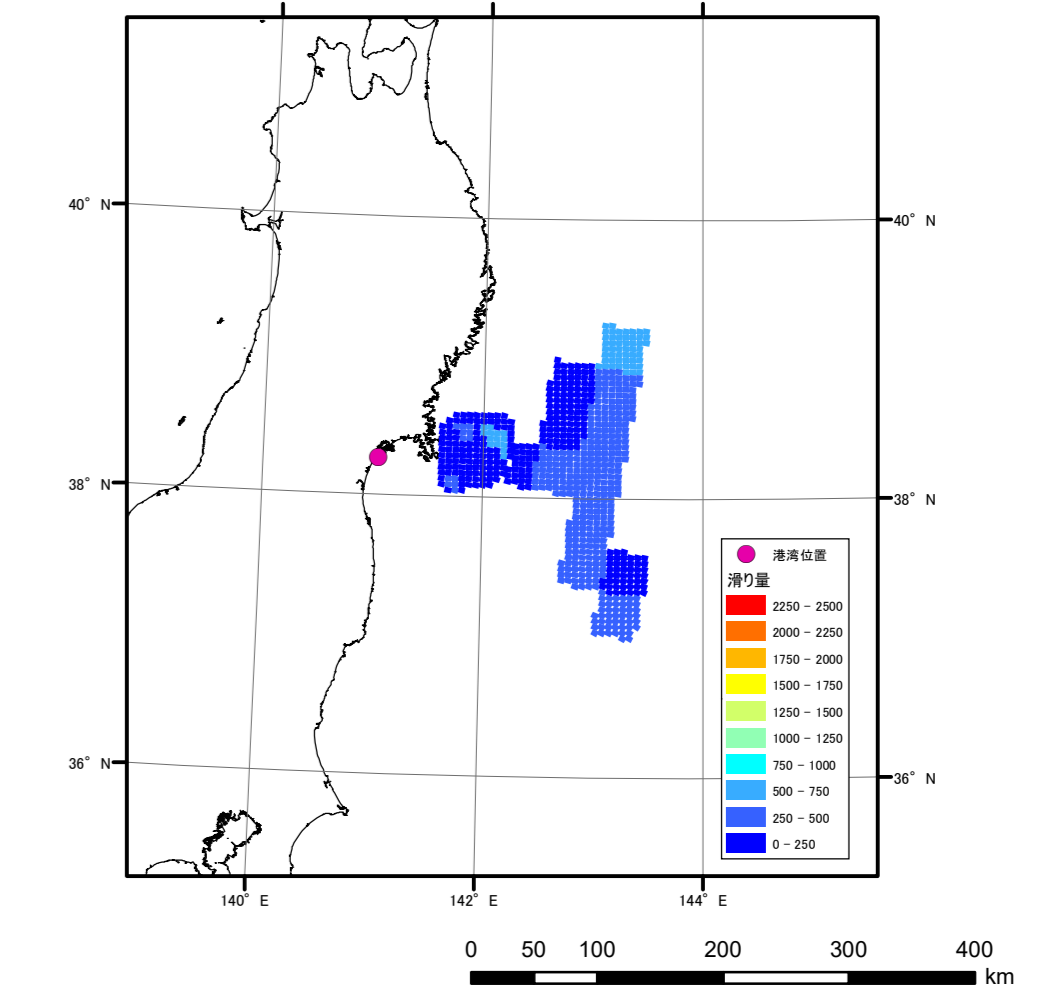


進入時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から20cm変動した時点を出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報3mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像) (国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平28情標、第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。